

中華人民共和国 上海高雅玻璃有限公司における E S C O 事業の概要

1 事業概要

- ・事業件名「上海高雅玻璃有限公司における E S C O 事業」
(2008年5月14日締結)
- ・発注者：上海高雅玻璃有限公司
- ・受託者：緑章(北京)新能源技術有限公司
(当社は、緑章からプロジェクトマネジメント業務受託：PM契約)
- ・E S C O 事業期間：2008年7月1日から3年間
- ・事業実施体制は図1参照、事業実施位置(中国上海市)は図2参照

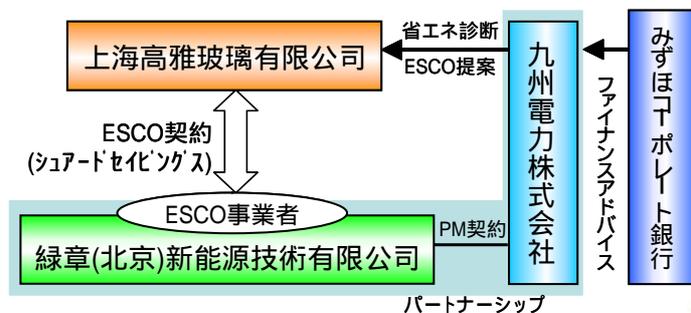


図1 事業実施体制



図2 事業実施位置

2 会社概要

上海高雅玻璃有限公司（以下、高雅）

- ・代表者：総経理 蓮沼一雄
- ・本社：中国上海市嘉定区
- ・従業員数：約1,100名
- ・主な事業：ガラス容器の製造、加工、販売

緑章(北京)新能源技術有限公司（以下、緑章）

- ・代表者：総経理 李 劍鋒
- ・本社：中国北京市
- ・主な事業：省エネ・環境コンサルティング及びE S C O 事業

3 当社が提案した省エネ改修の概要

高雅は、中国上海市で化粧品用ガラス容器を製造しているガラス工場であり、製ビン機用及び溶融炉冷却用のプロア設備を有している。今回当社が実施した省エネ診断時には、当プロアの風量調整をダンパーで行っていたため、インバーター導入により電力消費量が6割程度低減できることから、ESCO事業の活用も含め省エネ改修の実施を提案した。(インバーターの省エネ効果イメージは図3参照)

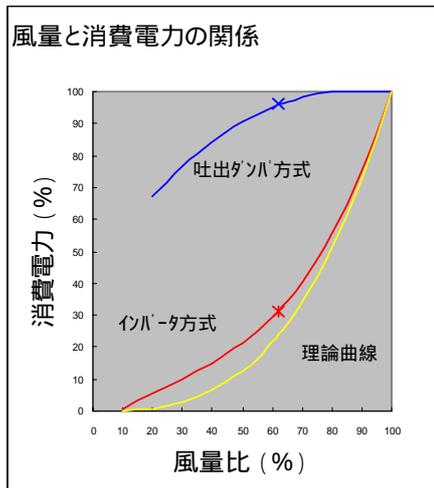


図3 風量と消費電力の関係図 (インバーター方式とダンパー方式)

4 ESCO事業の特徴

ESCO事業では

- ESCO事業者が、省エネ改修に要した初期投資や運用費用等を、ESCO事業期間中の顧客のエネルギーコスト削減額の中から徴収する。(図4、5参照)
- ESCO事業期間終了後は、エネルギーコスト削減分の全てが顧客の利益となるため、エネルギーコストの大幅な削減が図れる。なお、ESCO事業期間中の余剰利益は、ESCO事業者と顧客で配分される。

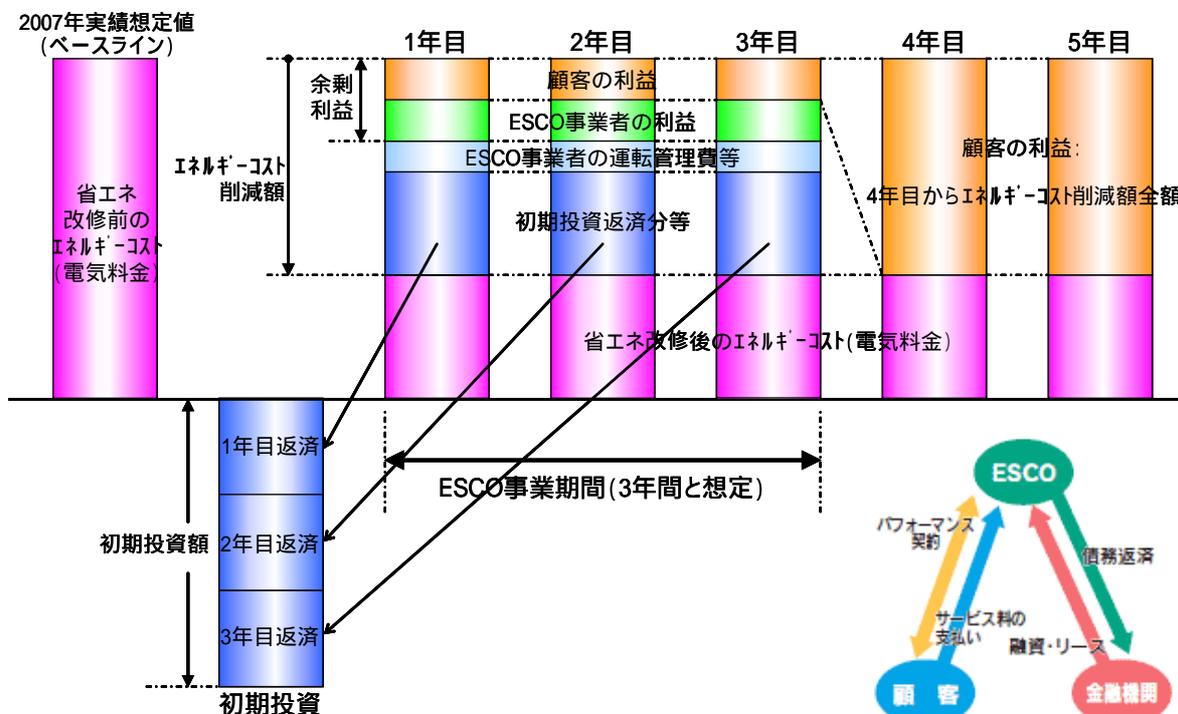


図4 ESCO事業の投資回収イメージ

図5 今回の契約形態 (シェアード・セイビングス契約)